

# 健康ガイド 2月

■対象：全域 申し込み・問い合わせ 健康課保健係・予防係(保健福祉センター内)☎内線76204、76207

種 目	実施月日	受付時間	対象者など	場 所
市民献血	2月はお休みです			
にこにこ健康相談	2月6日(水)	午前10時～11時30分	保健師・栄養士の個別相談 ○各種測定や食事相談など	市役所市民ホール
禁煙相談	月～金曜日 (祝日を除く)	午前9時～午後4時	効果的な禁煙方法を紹介 ○禁煙意志がある喫煙者とその家族など	保健福祉センター
母子健康手帳交付		午前8時30分～11時30分	妊娠届出書を持参してください ※時間に余裕を持ってお越しください	
マタニティセミナー	2月4日(月)	午後1時15分～1時30分 (予約制：定員15人)	対象：初めての出産を迎える妊婦で、5月 から7月ごろ出産予定の人 申込期間：1月7日(月)～21日(月)	
	2月9日(土)			
	2月18日(月)			

問い合わせ 高齢福祉課介護予防係(東原庁舎内)☎内線77271・77272

ふれあい健康相談	2月27日(水)	午前10時～11時30分	血圧測定・握力測定・歯科口腔相談	ふれあい福祉センター
すこやか健康相談	2月はお休みです			

申し込み・問い合わせ 沼田市地域包括支援センター・高齢福祉課介護予防係(東原庁舎内)☎1112(直通)

あつぶりんカフェ	2月28日(木)	午前9時30分～正午	認知症の人や家族、地域の人など、誰でも気軽に寄って集える場所です。相談も受け付けます	保健福祉センター 3階 研修室
----------	----------	------------	--	--------------------

■対象：全域 問い合わせ 健康課保健係(保健福祉センター内)☎内線76204

健康診査	種 目	実施月日	受付時間	対象者など	場 所
健康診査	4カ月児	2月27日(水)	午後1時～1時30分	平成30年10月生まれ	保健福祉センター
	10カ月児	2月19日(火)	午後0時45分～1時15分	平成30年4月生まれ	
	1歳6カ月児	2月12日(火)	午後1時～1時45分	平成29年7月16日～8月8日生まれ	
	2歳児歯科	2月20日(水)	午後1時～1時45分	平成29年2月生まれ	
	3歳児	2月7日(木)	午後0時45分～1時30分	平成27年11月14日～12月6日生まれ	
育児相談	エンゼルクラブ	2月8日(金)	午前9時30分～11時	乳児(1歳未満)	保健福祉センター
	わんぱくクラブ	2月22日(金)	午前9時30分～11時	幼児(1歳以上)	
	ベビーマッサージ	2月25日(月)	午後1時30分～3時(要予約)	はじめての乳児(生後3～6カ月)と保護者(先着12組) 申込期間：2月1日(金)～15日(金)	

## 相 談

中央児童相談所の巡回相談

とき 2月14日(木)午前10時～午後3時

ところ 利根沼田振興局2階利根沼田保健福祉事務所

内容 子どもの非行、家庭での養育やしつけ、言葉や発達の違い、性格などの相談や療育手帳・特別児童扶養手当などを受けるための判定や診断

申し込み 直接、または電話で家庭児童相談室へ

※先着順に受け付けます

問い合わせ 家庭児童相談室(東原庁舎内)☎0874へ

## 篤 志

(敬称略)

福祉振興事業基金へ

▽利根沼田建築相互組合(栄町) ↓1万2640円

社会福祉事業へ

▽沼田地区地場産業振興協会(西倉内町) ↓1万6379円  
▽野口兼道(神奈川県横浜市) ↓5万円  
▽北部地区労働者福祉協議会(渡川市) ↓3万3550円

## アイドル登場 掲載希望者募集

広報ぬまたでは、毎月「アイドル登場」のコーナーで、おおむね3歳になるお子さんを、家族の皆さんからのメッセージと写真で紹介しています。  
問い合わせ 秘書課広報広聴係☎内線3225へ

第36回くらしと健康まつり実行委員会(東原新町) ↓1万円  
株式会社ミツバ利根工場(白沢町尾倉) ↓9万4943円

(広告)

(広告)

(広告)

(広告)

# ぬまた 歴史 探訪 150

沼田市文化財調査委員 金井 竹徳

## 領内の安寧 城 鐘

(中央公民館・沼田公園)

30年の時を経て「平成」という一つの時代が終わり、春には新元号が生まれようとしている。大きな節目に、誰しも新たな感慨や心情が湧き上がる。400年ほど前、真田氏の2代目信吉は、領主就任20年を前に家門の長久や領内の安寧を願い、大鐘を鑄造させ、城内への造営に臨んだ。県指定重要文化財の城鐘である。城鐘に刻まれる銘文を意訳すると「十茲時寛永11(1634)年初秋(7月)、真田河内守(信吉)が大きな鐘を造らせ、楼を建てた。この鐘は、時を告げること日に12回、家臣や領民に清い心を起こさせる音を響かせ快い。次に祝賀を願え詩を述べること前文が示され、趣意の漢詩が続く。

「浦平一声万天轟 上下覚眠心裡清」  
「主將権威跡長久 從此安全国家城」  
青 寛永拾一歳甲戌 潤七月吉日  
滋野朝出信吉公



電頭部分が浦年に

敵に襲われると大声を発し、驚かせて身を守るという空想上の海獣「浦平」のよう、この鐘の一声は大空に轟く。沼田の領民の眠りを覚まし、心の底まで清らかにする。領主の権威はますます長く続く、領内も城も安全である。  
信吉はこの年の11月28日、41歳の若さで没した。しかし、家門や領民の平和安泰を願った藩主の思いは、強く城鐘に宿っている。その後、5代信直が天和元(1681)年に改易。城破脚の時、城鐘は原新町の平等寺の住職寛遠の懇願により寺鐘となり守られた。その時の曰く因縁も鐘に刻まれている。  
明治以降は、沼田町役場の西北隅に鐘楼堂が建立され「時の鐘」として役割を果たした。そして現在、歴史の城趾に鐘楼堂と共にレプリカ

が、実物は中央公民館に大事に保管される。新たな年、沼田の繁栄や安穩を二つの鐘に託したい。



沼田公園に再建された鐘楼堂